

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

## 平成三十年を迎えて

## 会長 並木道義

早いもので会長就任から1年を経過しようとしております。今年のお正月は如何お過ごしでしたでしょうか？間もなく新年度を迎えるKU-MAですが、新年度も「宇宙の学校」の開催に新規に数校が参加を表明しており、そろそろ全国で60校になろうとしております。KU-MAの理念も少しずつ皆様に浸透し始めていることと思い、嬉しい限りです。

JAXA宇宙科学研究所相模原キャンパスが開所したのは平成元年ですから早いもので今年丁度三十周年を迎えることになります。この間ロケットはM3S-II型からM-V型へ移行そして平成十八年のM-V-8号機を最後に宇宙科学研究所としてのロケットの開発、打上げが6年間行われませんでした。

その後、高性能・低コストの打上げを目指したイプシロンが開発され、この一月十八日に三号機が打ち上りました。搭載されたのは高性能小型レーダ衛星(ASNARO-2)です。

三十周年を迎える相模原キャンパスでは、昨年の五月より宇宙科学探査交流棟の建築工事が始まりました。建築面積は千百十五平方メートルとなり、昨年九月より中止していた見学も新しい施設で、二月二日午後より公開が始まりました。(公開日はインターネットで確認できます)



▲宇宙科学探査交流棟

これまで本館の一階に展示されていた物は全てこちらへ移動し、プレゼンテーションの環境も備え、多くの来訪者との交流の場とする計画です。

第一回目は筑波宇宙センター、種子島宇宙センターなどに於いてロケットの射場の企画等に携わってこられた笠原眞文会員による「国分寺と宇宙」の講演と教材の紹介

二回目は、相模原キャンパスや相模原市立博物館見学。

三回目にはノンフィクション作家でKU-MA元理事山根一眞さんによる「人類のフロンティア、宇宙と深海で(見てきた)大発見」と題した講演や教材紹介など、参加者は20代から80代まで、リピーターの方も数名おり、大変好評で終了しました。来年度は、他の地域でもおとなの宇宙の学校の開催を計画中です。

全国のKU-MA会員の皆様にとつて本年も良き年となりますように。重ねて今年もKU-MAを盛り上げていただけますようよろしくお願ひいたします。



▲おとなの「宇宙の学校」第1回開催模様

今年も国分寺市との連携で「おとなの宇宙の学校」が一月二十七日より三回シリーズで国分寺(光プラザ)にて開催されました。

月二十七日より三回シリーズで国